

生野高校研究倫理ガイドライン

科学者を名乗る人たちが、名誉やお金のために不正を行うことがある。これらは、研究活動の本質に反するものであり、科学に対する背信行為である。科学的探究活動を行うに先立って、私たちは研究不正を根絶し、誠実で責任ある研究活動を粘り強く行うために、以下の研究倫理ガイドラインを定める。

1. 捏造(Fabrication)をしない
2. 改ざんをしない 【偽造(Forgery)とよぶこともある】
3. 盗用をしない 【剽窃(Plagiarism)とよぶこともある】
他の研究から文章や図などを引用する場合は、必ず引用文献を明記する。
4. 実験の記録をきちんととる
5. 生データを保管する

実験ノートの取り方

1. 実験ノートは、実験を実際に行ったことを示す唯一の物的証拠である。
2. 実験ノートは、実験レポートを書くときに用いる唯一の情報源である。
テーマ、日時、天候、気温、気圧、共同実験者、測定データ、途中計算、スケッチ、匂い、色、形……、実験中の出来事、思いついたこと、等すべてを書き留める。
3. 実験ノートは1冊の「綴じ込み式」の専用ノートが、オリジナルデータ紛失を回避し、ページの差し替えができないので良い。
4. 実験ノートを記入する際には、レポートをまとめるときに必要な項目を意識して書く。
5. 実験ノートは、実験前、実験中、実験後にその場で記入し、後から記入してはいけない。
6. 実験ノートを書き間違えた場合、消しゴムを使わず、二重線で訂正する。その方が改ざんの疑いが減る。
7. 実験ノートは利き手側におき、装置や薬品などを上にのせない。
8. 数値のごまかしや、やってもいない実験操作などの嘘を記入することは、犯罪です。実験書の結果や予想と違う場合は、そのまま記入し、なぜそうなったか考え、参考資料などを調べることが、実験の考察や、今後の実験の展望につながります。